

県内初の重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 患者の発生について

令和4年11月22日(火曜日)、医療機関から高岡厚生センターに、重症熱性血小板減少症候群 (Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome) (以下「SFTS」という。)の発生届出が提出されました。富山県内でSFTS患者が発生するのは今回が初となります。

SFTSは、主にSFTSウイルスを保有するマダニ(※)に咬まれることで感染します。マダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まるため、特に注意が必要です。

なお、国内ではSFTSの人から人への感染は報告されていません。

※マダニは、食品や衣類などに発生するダニとは全く種類が異なります。

1. 患者の概要

- 患者 60歳代女性(高岡厚生センター管内在住)
- 主な症状 発熱、頭痛、発疹、消化器症状、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹 等
- 現在の状況 現在、軽快している
- 推定感染経路 マダニによる刺咬
- 経過 11月9日(水) 悪寒、発熱、食欲不振、倦怠感
11月12日(土) 医療機関を受診
11月22日(火) 富山県衛生研究所による検査の結果、SFTSウイルス陽性と判明

2. SFTSについて

(1) 病原体及び症状等
フェヌイウイルス科バンダウイルス属のSFTSウイルスによる感染症で、主にSFTSウイルスを保有するマダニに刺咬されることで感染します。

主な症状は発熱、消化器症状(嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血)であり、ときに、頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴います。血液所見では、血小板減少、白血球減少、血清酵素の上昇が認められます。致死率は10~30%程度です。

(2) 全国でのSFTS発生状況

年	H29	H30	R元	R2	R3	R4※
人数(人)	90	77	102	75	110	113

※令和4年11月18日時点の速報値

3. 予防方法

- マダニに咬まれないために
・草むらや藪などに入る場合は、肌の露出を少なくしましょう(長袖・長ズボンを着用する、

【報道機関各位へお願い】

報道に際しては、患者様御本人及び御家族のプライバシーに十分な御配慮をお願い致します。

足を完全に覆う靴を履く、首にタオルを巻くなど)

- ・虫除け剤を適切に使用しましょう。
- ・屋外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。

(2) マダニに咬まれた場合

- ・マダニに咬まれているのを見つけたときは、無理に引き抜こうとせず、皮膚科などの医療機関で処置をしてもらいましょう。
- ・マダニに咬まれた後、数週間は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。マダニに咬まれたことを医師に説明してください。

4. SFTS に関する情報については下記のホームページをご覧ください。

○重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) について (厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522.html>

○重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/sa/sfts.html>

【報道機関各位へお願い】

報道に際しては、患者様御本人及び御家族のプライバシーに十分な御配慮をお願い致します。